

県民会館の再整備の基本コンセプト（案）

1 基本理念

多様な人々が集う幅広い文化の拠点

【基本的な考え方】

人生100年時代を迎え自由時間が充実する中で、県民が自己実現や生きがいづくりのために行うさまざまな文化活動に加え、生涯を通じた学び直し、外国人が日本文化に触れる場など、多様な人々が集う幅広い活動の拠点として再整備する。

2 目指す方向性

(1) 気軽に良質な芸術文化に親しむ環境

子どもから大人まですべての世代が、芸術文化に関心を持ち、気軽に触れることができるよう、鑑賞する機会を提供する。

また、鑑賞するだけでなく、一人ひとりが自由な創作活動を発表する機会を提供することにより、芸術文化を通じて、心豊かな生活を実感できる場を目指す。

(2) 人材育成と情報発信

芸術文化を担う人材を育成し、将来にわたって活発な芸術文化活動を展開するため、新進・若手芸術家等の活動を応援し、交流する場づくりを目指す。

県民が芸術文化の催しや支援など知りたい情報を提供できるよう、総合的な情報発信の機能を強化する。

(3) 県民の幅広い交流拠点

県民の生涯を通じた学び直しによる自己実現や、次代を担う青少年の育成など、県民の幅広い活動を支援する。

誰もが気軽に立ち寄ることができる開放的な空間を設け、元町山手地区への回遊の目的となるランドマーク性を備えた施設を目指す。また、外国人に日本文化に触れる機会を提供し、新しい人の流れを作り、地区全体の賑わいを創出する。

3 再整備にあたっての留意事項

(1) 来訪者等が安心して訪れる施設

高齢者や障がい者をはじめ、すべての来訪者が快適に施設を利用することができるよう、ユニバーサルデザインを追求した構造・設備とする。

また、大規模災害時には、ホールや会議室を一時滞在施設として活用し、帰宅困難者が安全に過ごすことができる施設とする。

(2) 近隣の地域資源との連携

県公館、相楽園など、元町山手地区に立地する貴重な地域資源と連携を図ることにより、来訪者が単に地域資源を巡るだけでなく、地域資源を活用した感動体験を提供するなど、文化の香りと賑わいにあふれる地区の形成を目指す。

(3) 県関係機関等の事務所との調和

県庁周辺に分散する県関係機関の集約にあたって、県民会館には県民による幅広い活動と密接な関連を有する機関を中心に配置し、利用者の動線等に必要な配慮を行う。